

# 岩手新聞

社開新野常所行發  
九五町南町平縣島福  
次 藤 藤 伊 人行發  
港吉町濱名小縣島福

刊夕日二十二月六

一ヶ月 三十錢  
一 部 二 錢  
廣告料 一行五十錢  
場所指定 十錢増  
日曜祭日翌日休刊

見られるが乞食のやうなひ  
ごい装をしてゐた。  
飯櫃ばかり盗む  
昨廿一日平野に捕へられた  
山形生れのルンペン 齋藤市  
松屋五郎は去る十五日夜警備  
村雜貨商藤上忠太郎方から  
現金一圓と飯櫃を盗んだこ  
ノンビリして好人物だ、現  
に漁業家であり試験場囃託  
として鯉の検査員である  
野崎氏の長所？真直な心  
氣、善事と心得て立つ以上  
テコでも金でも動かすこと  
の出来ぬ純真なる點、頼慮  
も引受けると言つた純情味  
六十九圓、去年の平均六十  
三圓に較べると、尚ほ最  
よくなつたわけで、尚ほ最  
近石城郡の馬は足が強い

### 地方名士

野崎亟之助氏  
野崎氏は漁業の指導者としてあらう。  
て縣下に其名を馳せた野崎では短所は何か、事業の爲  
の電話が海軍軍艦の重なる人  
々にかつてきた「スワ」  
大事と知友などに知らせ合  
各方面より駆付けられたもの  
だ、面喰つたのは小川兵曹  
長殿、何が何やらサツパリ  
判らず双方顔を見合せて黙  
然たり、事情を聞いて、  
又聽かせて「ナンダー」  
放逐局はごごか、一杯喰は  
された連中報復に餘念がな  
い云ふから此の次に如何  
なる重大事が放逐される  
事か？小川兵曹長の朝腹  
自殺の放逐者は知る人ぞ知  
る、皆さま「君に用心  
しなさい」

杯に勳章を下げ一目視た丈  
けでも温良な風貌とあの勤  
章を對照して大人から小供  
までのアコガレの中心とな  
つた小川爲八郎兵曹長一  
軍艦も出港して間もない一  
二日後、小川兵曹長は遺書  
を認め軍刀にて割腹したと  
の電話が海軍軍艦の重なる人

## 縣醫師會講演會に 鹽田博士特別講演

來月下旬華々しく  
平町にて開催

縣醫師會第十一回學術講演會は大體八月初旬の見込  
演會は七月廿八日午前八時  
から平町第三小學校で開か  
れることに決定したが縣下  
の殆んど全部の醫師が出席  
會員は自分の研究發表に各  
十分づつ講演することにな  
つてゐる。

## 深夜料理店で 裸男のたんか

平町材木町今井一郎(廿)  
は昨廿一日午前一時頃平町  
南町料理店松本樓に上り込  
み、主人に金を借せと強談  
判したがはねつけられたの  
でいきなり着てゐた伴天を  
抜いて素裸となり「俺  
を誰れだと思ふ」と嗚咽を  
切つて亂暴するの店で  
平署に急報警員にあつさり  
検束された。

## 無心を断わられ ステツキで暴れ廻る

『ナリは乞食でも  
街の顔役にて候』

昨廿一日夜、湯本町金光  
理店立花亭に押しかけ再  
室時計店にゴロツキ風の男  
二人が現れ「金を借せ」と  
強引に金を奪つた。男は  
主人に強要したが、男は  
餘りひどいので店では乞食  
と思つて断つたところ矢  
に居直り凄文句を並べた  
に居直り凄文句を並べた  
に居直り凄文句を並べた

## 上棟式

來る二十八日

玉川村では來る廿八日午  
前九時から小學校講堂と奉  
安殿の上棟式を行ふが總工  
費六千八百圓、うち奉安殿  
は八百五十圓の豫算であり  
なかつたものか、附近の料

## 胃腸薬持参の 行倒れ

昨廿一日午前六時頃好間  
當日の出席者は主催側の  
振高五百圓最低十五圓で平均

## 感謝されつゝ 農繁託児所閉所

去日來忙し農家の幼  
を一日平均五十名預つて本  
年初めて閉所された江名町  
永崎分校の農繁期託児所は  
農繁中の江名校職員とそ  
れに隣保館の保母二名が参  
加して地元農家から感謝さ  
れてゐたが急々忙しい日  
もすむので今廿二日午前  
十時から同託児所関係者  
並に資質託児所の母等参集  
して賑やかに閉所式を舉行  
した。

## 駒籠近づく

川前七月四日  
小川一 九日

## 郡農會評議員選舉 廿七日平町で 候補者猛運動

石城郡農會評議員十名の  
選舉は平町同會事務所から  
廿七日午前十時から行は  
れるが、會長諸橋久太郎  
は、副會長長瀬清貞(植田)  
氏は當然再選と豫想され  
金成淺治(好間)新妻 盛  
(四倉)沼田濱之助(内郷)  
の諸氏である

## 街の噂

小名濱測候所発表  
今晩 北風曇り時々晴れ  
明日 南の風時々曇り  
気温 七百五十三三純四  
銚子、新潟一雨  
紀州潮一盛

## 漁だより

(廿一日分)  
小名濱 魚市場調査  
魚名 魚獲高 單價割  
平目 八貫 廿四割  
タイ 十貫 廿四割  
カツラ 千二百五十本 廿九  
バチ 卅八本七、五〇割  
スズキ 千十貫 卅一、三  
サバ 卅四四一、五〇割  
イワシ 千二百箱 五十錢  
ガワシ 八十貫 六、一五、六  
ノドグロ 百貫 五、一四、五

### 常磐短評

縣會改選を前にして片濱人の焦燥

縣會議員改選期も目と鼻の間に迫つて来た、片濱の心ある人々は、そろそろ焦燥したして来た、小名濱商港を中心とし大都市計書の関係もあり江名中之作量問は、何れも漁港を控へその對策、何れも支那を訪問し敬意を表す海の人を縣會に送りたい、扱て其人選は誰が良いか、金と人物、仲々一致した人象は小名濱の人江名町又象は豊間の人々も片濱から馬するならば誰でも良いか、應援する者々の爲めに物位でもらう議員なのだ、銘々が出費しても五千圓は集まる候補者は四五千圓位作つて呉れ、ば澤山た云ふ事である今話題の人として立花雄七君水野順弘君江名では太清左工門君などが問題の人となつて居るが果して何處に落付くか所謂社會通なる人々の言を聞く結局の落着は小野晋平君を無理矢理にも引出して二度の物を地方の爲め御願することになるであらうとの觀察を下して居るが、斯ふ出来れば大變好都合で申分ないが明年は代議士の改選期でもあり果して早く小野君をカッパ出せるかどうか? コモモ焦燥しな

らも風の前の掛けさで、表面化するも来月上旬であらうとは通人連の囁きである。

### 募集

營業部 平町 一名  
營業部 小名濱町 一名  
學生 配達夫  
中等學生 一名  
又は高等二年 二名  
申込は平町南町  
昭和活版所宛  
日常新聞社

銘酒は

## 清世界

三井生命保險株式會社 代理店  
大正火災保險株式會社

店本屋水清 元賣發  
番六話電町濱名小

魚市場部

### 磐城水産工業株式會社

三井生命保險株式會社 代理店  
大正火災保險株式會社

小名濱町築港内  
電話一四四番

### 寶屋藥舖

高級一般藥品  
化醫一高  
療般級  
粧器藥賣  
器具品藥

小名濱町古港  
電話三十九番

眼科專門

### 鈴木科眼醫院

本院植田町  
分院小名濱町古港

内科外科  
耳鼻咽喉科

### 宮津醫院

小名濱町 電一四二番

靴文 5.00  
靴文 1.00

### 平屋靴店

小名濱町  
電話一四七番

KS切親

船船用電氣  
各種蓄電池  
捲替修理  
各種電球

### ケーエス商會

磐城小名濱町  
スマヤ電氣部  
店主 小濱敬太郎  
電話一五九

技術流行型揃安價迅速に  
御注文に應ずる

### 皇恩會

### 小松洋服店

小名濱町小松路十二  
電話正治

防コ 腐ル  
ナイ メン  
エペ 材  
寫機 器  
計量 器

### 資生堂

小名濱町中島電話一四七番

風景、人像  
御寫眞

### 尾城寫眞館

小名濱町中島  
電話一〇四番

會員は何れも身元確實、婦人らしき誠實の人々を  
至極お安く遠近を問はず差上げることが出来ます  
年令満十八才以上學歷を問はず誠實な婦人を望む  
向々の仕事に派出する事が出来ます、寄宿舎の便  
もありません。

### 臨時家政婦速派

×××、お産前後の御手傳ひ  
×××、御病人様のお付添  
×××、其他御家庭の凡べての御用

### 小松派出婦人會

小名濱町橋本十二(小野新聞店裏)  
會主 産婆 小松 電話四八番

水産試験場製鹽部  
製鹽部  
製鹽部

### 社告

營業部員原田公民は  
背徳の行爲あり依て退社  
せしむ  
今後本社と何等關係なき  
を公待す  
常磐新聞社

水産試験場製鹽部  
製鹽部  
製鹽部

### 文屋百貨店

小名濱町古港  
電話正治